

平成26年度
中 第5号
6月27日(金)
校長 秋山達郎

総社東中学校だより

人権集会あいさつ《要旨》(6/26)

今日で春の人権期間が終わります。生徒会を中心に様々な活動を行いました。その中のひとつに「あいさつ運動」がありました。評議員が大きな声で、気持ちのよいあいさつを登校する生徒に向かってしている姿を目にしました。

総社東中の生徒は、よくあいさつをする保護者の方や地域の方から褒めていただくことがよくあります。私もその通りだと思いますが、最近、気になることがあります。それは、生徒によってあいさつをする生徒と、ほとんどしない生徒の差があることです。

例えば、下校指導の時に、サッカー部のように、とても大きな声で「さようなら」と言う男子生徒がいる一方で、無言で帰っていく生徒もいます。昨年度に比べて今年度はその数が多いような気がします。こちらからあいさつをしても返ってこないのは、とても残念です。

調べてみたところ「挨拶」という言葉はもとも仏教語で、挨拶は「押す」、拶は「せまる」という意味があり、その事から「挨拶は、前にあるものを押しのけて進み出る事」を指します。禅宗では、「一挨拶：いちあいいつさつ」と言い、師が弟子僧へ、あるいは修行僧同士が言葉や動作で、その悟りの深淺を試すものだそうです。

より良い人間関係をつくるためには、「あいさつ」は欠かすことのできないコミュニケーションの一つです。あいさつは相手の存在を認める第一歩です。また、あいさつは人権のスタートでもあります。

つい最近のことですが、自分の思いや気持ちを相手に伝えようとする事の大切さを実感することがありました。

それは、中国上海市の新和中学との交流です。新和中学の生徒33名と引率の先生方5

名、合わせて38名の訪問団が、6/7(土)～6/8(日)の2日間岡山に滞在し、本校の吹奏楽部の生徒と交流を深めました。

その時の感想文を紹介します。

中国上海市にある新和中学の生徒と交流しました。最初に見たのは倉敷市民会館の正面入口でした。日本語が通じない人と本格的に交流するのは、初めてだったので、とても緊張しました。

お昼の弁当の時には、新和中の男子4人、女子2人と東中の3年5人、1年2人で円になって話しながら、食べました。あんなに英語が難しいと思ったのは初めてだ!!というぐらい頭が真っ白になったけど、中国人の方が笑顔で接してくれたので、だんだん慣れて楽しくなりました。新和中学の練習の休憩中、部屋の外でスピーカーから聞こえる他校の演奏を聴いていたら、新和中学の男子が2人近づいてきて、上手すぎる英語でたずねられたので、適当に「トイレかな。」と思って、トイレに案内すると、「ドライバー?」とまたまた上手すぎる英語で言われましたが、「あっ、ドライバー?」とジェスチャーと日本語で聞くと、「そうそう、それだよ。」という顔をされたので、精密ドライバーを渡すと、「Thank you」と言ってくれました。いろいろあったし、恥ずかしかったし、笑われたけどうれしかったです。



(1日目昼食会場)

2日目、東中でプレゼント交換をしました。昼ご飯をみんなで食べました。同じテーブルになった子と写真撮影したり、英語で話したけど伝わらなかったり、中国語やゲームを覚えてもらったり、日本語



(2日目昼食会場)

を教えたりしました。とっても楽しかったです。途中、歌合戦が始まりました。最後には、新和中の女子10人くらいが「君をのせて」を日本語で歌ってくれました。授業のあと、自分たちで自主的に練習してくれていたというのが、うれしかったです。昼食を終えて市役所でのお別れの時、一緒に食べた子に写真をいっぱいとられました。ドライバーの男の子にもたくさんとられました。最後に仲良くなった2人の女子とハグしました。バスに向かって手を振っているとき、急に悲しくなってきました。最初は、日本人と中国人という大きな言葉の壁があって、接しにくい場面もあったけど、言葉が通じなくても、ジェスチャーや表情で気持ちが伝わるといことを感じました。また新和中学と交流したいです。

直接、相手の顔を見ながら、挨拶をしたり、会話をしたりすることで、言葉だけではなく、こちらの思いを伝えることができます。また、相手の表情から気持ちをくみ取ることもできます。こうしたことは、LINEなどではできないことです。

今日はあいさつについてお話ししてきました。あいさつは相手がいなければできません。一人の世界ではあいさつは、必要ありません。私たちは一生、一人で生きていくことはできません。相手の人や周りの人との人間関係の中で生きていきます。「はい」という返事を大きな声で一生懸命したり、「おはよう」と笑顔であいさつをしたりすることは、自分ではない相手に「私はあなたを大切に思っているよ」というメッセージなのです。

今日はあいさつについてお話ししてきました。あいさつは相手がいなければできません。一人の世界ではあいさつは、必要ありません。私たちは一生、一人で生きていくことはできません。相手の人や周りの人との人間関係の中で生きていきます。「はい」という返事を大きな声で一生懸命したり、「おはよう」と笑顔であいさつをしたりすることは、自分ではない相手に「私はあなたを大切に思っているよ」というメッセージなのです。

出前授業を実施しました

総社東中学校区内の5つの小学校へ、総社東中学校の先生方が出向いて、6年生を対象に出前授業を行いました。

- 6/9 総社北小 算数
- 6/10 総社小 算数
- 6/11 阿曾小 理科
- 6/12 山手小 国語
- 6/13 総社東小 理科



今回の授業でむずかしい言葉や初めて知った言葉を、たくさん教えてもらいました。そして、書きながら音読すると覚えやすいということも教えてもらいました。絵をかいてみたり、楽しかったです。先生の授業は、とても分かりやすかったです。中学校の授業が楽しみになりました。



今日の授業を受けてみて、なんとなく中学の授業はこんなことをするんだと思いました。プリントの文字が小さくて、びっくりしたけど、くわしく書いてあって分かりやすかったです。絵をかいて表現したのが、楽しかったです。今日の授業を受けて、中学に行くのが楽しみになりました。



中学ではあれを全部ノートに書くんだから大変だなと思った。1回1回の授業がすごい大変だと思った。今からちゃんとノートを書いておこうと思った。



活躍紹介

2年生の小倉彩愛さんは、6/24から茨城県で開催されているゴルフ日本アマチュア選手権に出場しています。小倉さんは中国地区アマチュア選手権で見事3位に入り、全国大会への切符を手に入れました。小学生の時からその実力を発揮しています。

応援には行けませんが、職員・生徒全員で総社の地から応援しています。

